

## 三菱地所グループにおける環境負荷低減に向けた取り組み

### Topics 1

#### 三菱地所の省エネ・節電対応

三菱地所では従来から省エネ・節電に取り組んできましたが、2003年夏期は東京電力の原子力発電所停止に伴う電力不足を踏まえ、当社が管理するビルにおける共用部分照明の一部消灯をはじめとした各種の省エネ・節電対応に加え、当社事務室内においても、6月から8月の間に率先して一層の対策を講じました。各部署で選任した「省エネ・節電担当者」を中心に、以下の対応を実施しました。

会議室等は、未使用時及び使用後は必ず消灯する  
昼休み時間(12:00～13:00)は原則として事務室内を消灯する

勤務時間中においても事務室内の必要な箇所以外はこまめに消灯する(右写真)  
OA機器(コピー・FAXを除く)は未使用時電源OFFとする  
室内個別空調の温度



は27度以上とし、11:00～16:00の間は運転しない  
室内通路部分等の照明を間引く  
近接階への移動時はエレベーター利用を控え、階段を利用する

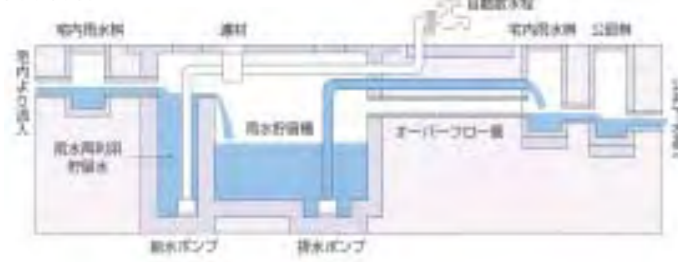
なお、実施期間終了後も引き続き省エネ・節電の徹底に取り組んでいます。

### Topics 3

#### TOKYO TWIN PARKSにおける雨水再利用

三菱地所を含めた8社による分譲マンションTOKYO TWIN PARKS(東京都港区)では、環境・資源対応への取り組みを行っています。その一環として、雨水再利用システムを採用し、雨水を一時的に地下の貯水槽に貯え、砂や鉄分等を取り除いた後に、外構植栽への散水や非常用の雑用水として再利用しています。

雨水再利用システム



TOKYO TWIN PARKS

### Topics 2

#### グリーン電力証書システム

三菱地所は、クリーンなエネルギーとして注目されている風力発電の実施を日本自然エネルギー(株)に委託しています。

2002年4月1日より15年間にわたり、年間100万kWhの発電量を契約し、2002年度の実績は契約通りでした。

これにより当該年度の三菱地所本社オフィス(東京ビルディング)における冷暖房用を除く使用電力の約67%を風力発電で賄いました。



### Topics 4

#### (仮称)二番町プロジェクト

2004年初夏の完成をめざして東京都千代田区二番町にて建設中の、三菱地所を含めた3社による共同事業物件である「(仮称)二番町プロジェクト」は、ワンフロア最大1,200坪の無柱空間を確保する最新のオフィス機能を中心に、上層部には都心型高級賃貸住宅を併設しています。屋上及び壁面の一部は緑化し、ヒートアイランド現象の緩和にも貢献すると同時に建物の熱負荷を軽減し省エネにも役立てる計画としています。



### Topics 5

#### イムズ「百草木の径」(ひやくそうもくのみち)

三菱地所の連結子会社である(株)イムズが運営管理する複合商業施設・情報発信基地「イムズ」は、福岡の商業ビルやオフィスが立ち並ぶ「天神」地区の中央に位置します。ビル周辺の環境も時代にあったものへと整備し、都市に可能な限り自然を創り出そうと、2002年6月、ふるさとの田んぼの土手や野辺の道をモチーフとした「百草木の径」を創りました。「土」を多様に用いて、三和土床(たたきゆか)を現代の技で蘇らせ、三和土の持つ蒸散効果や、混入された「にがり」の持つ保湿効果でヒートアイランド対策を行うとともに、地元の野草をメインとした植栽を施しました。



〔\*1〕ヒートアイランド  
都市における舗装や建物の増加や冷暖房などの人工排熱の増加などにより気温が郊外に比べて高くなる現象。鳥状に気温の高い部分ができるのでヒートアイランドと呼ばれる。

### Topics 6

#### 「丸の内R&Aサービス」(Recycle & Archive)

三菱地所は、(株)ワンビシアークイプズと提携し、丸の内地区の当社所有ビル30棟で企業内文書の機密抹消処理・リサイクル・保管等のトータル・マネジメントサービス「丸の内R&Aサービス」(Recycle & Archive)を2003年4月9日より開始しました。

「丸の内R&Aサービス」は企業内の機密性の高い文書を回収し、機密抹消処理した上でリサイクルを行い、その企業に紙フォルダーなどの文具品を還元する環境対策に有効なR(Recycle)サービスと万全なセキュリティ体制で企業内文書の保管、一元管理、配送を請負うA(Archive)サービスで構成されます。

